

「水星と金星の大接近(2)」

地球から見て、水星と金星がこれほど接近することはめったにありません。この3日間、二つの惑星を観察していますが、なかなかの接近ぶりです。腕を伸ばして、にぎりこぶし1個分が、視角度で約 10° です。現在の水星と金星の視角度は、それよりもはるかに小さく、 1° 以下です。腕を伸ばした時の小指の幅ほどしかありません。私は、まず自宅近くの隅田川のテラスで撮影を試みました。ここは西側が川なので、沈む惑星がよく見えると思ったのです。しかし行ってみると、そこは高層マンションの森。遊歩道の先端まで移動して、やっと二つの星が見えました。



「水星と金星のランデブー」

2015, -1, 11 17:30頃 江東区越中島 C. Tanaka

この日は残念ながら、携帯のカメラしかなかったので、画質が悪いです。しかし、地球から（しかも東京都内から）二つの内惑星の接近を撮影できて、大変満足でした。写真に写っている対岸は、中央区（佃島）の高級マンション、白い橋は「中央大橋」です。明るいほうが金星、暗いほうが水星です。ものすごく美しい光景でした。

この二つの惑星の接近は、しばらくの間続きます。翌日（1月12日）は出かけていたのですが、自宅に着いた時、辛うじて沈んでいませんでした。私は自宅のテラスから撮影しました。



「自宅テラスから見た金星と水星」

2015, -1, 12 17:35 頃 江東区越中島 C. Tanaka
ほとんど沈む寸前、ぎりぎりセーフの撮影でした。

こんなに美しい「太陽系の風景」を、子どもたちにも見せない手はありません。私は今日（1月13日）の授業で「是非見るように！」と子どもたちに伝えました。さて、見てくれたでしょうか？

（お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋）